

## 2月のイベントカレンダー

日	曜	行事予定
1	月	休館日
2	火	JICA青年研修開始～3/16
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	休館日
8	月	休館日
9	火	
10	水	
11	木	休館日
12	金	
13	土	10:00 ノラの手仕事
14	日	10:00 子ども日本語ひろば
15	月	休館日
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	
20	土	
21	日	休館日 10:00 外国語おはなしのへや
22	月	休館日
23	火	休館日
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	13:30 情報紙発送作業 10:00 子ども日本語ひろば 10:00 国際理解講座
28	日	



会津若松市国際交流協会  
〒965-0871 会津若松市栄町2-14  
レオクラブガーデンスクエア5階  
TEL:0242-27-3703 FAX:0242-27-3704  
Webサイト:<http://awia.jp> メール:[mail@awia.jp](mailto:mail@awia.jp)

## コロナの相談が19言語で！県内外外国人住民対象

福島県では、県内にお住まいの外国人住民の新型感染症に関する不安解消や生活面での助言を行うため、新たに電話相談窓口を開設しました。最大4者間の同時通話により保健師が助言などを行うとともに、必要に応じて受診・相談センター等につなぎ、通訳支援を行います。通常の電話だけでなく、LINE通話を活用した電話でも相談できます。ぜひ必要な方にお知らせください。

対応時間 24時間いつでも ※話したい言語を伝えてください。  
※保健師による対応は、平日の9:00～17:00のみ



## 「世界と言語」オンライン講座 高校生・大学生対象

(公財)福島県国際交流協会では、高校生・大学生に向けて、国際理解に関する講座を実施します。

日 時 2月20日(土) 18:00～19:30  
場 所 オンライン講座 (Zoomを使用)  
講 師 伊藤オディ  
対 象 福島県国際交流協会 国際交流員 モンゴル出身  
参加費 無料 ※通信料は参加者の負担になります  
内 容 「世界と言語」  
①言語とは何？  
②日本語はどのように生まれたの？  
③なぜ外国語を学ぶの？  
④講座に関するオンライン対戦クイズ  
申込み 2月15日(月)までに次の①～③(未成年の場合④、⑤も)を記載してメールでお申し込みください。受付後に参加URLを送付します。①氏名(ふりがな) ②学校名・学年 ③当日連絡が取れる電話番号 ④保護者名 ⑤保護者連絡先  
E-mail: [ody@worldvillage.org](mailto:ody@worldvillage.org) TEL 024-524-1315



## ボランティアをお願いします！

協会情報紙の袋づめや、宛名シール貼りなどの簡単なボランティアを募集しています。1時間～1時間半で終了します。申込み不要。どなたでもお気軽にお越しください。

日 時 2月27日(土) 13:30～  
場 所 当協会



会津若松市国際交流協会 情報紙

# FINC

Freedom/International/Necessity/Experience

感染症拡大防止のため、マスク着用や手指の消毒にご協力をお願いします。イベントが急に延期や中止になる場合がありますので、最新情報はfacebookやホームページでご確認いただか、直接お問い合わせ願います。



## ノラの手仕事

## 英語でクッキング チョコマーブルフラウニー

今年のバレンタインは大切な人へ、手作りスイーツで感謝を伝えませんか？国際交流員のノラが、クリームチーズを使ったフラウニーの作り方を、英語で紹介します(日本語通訳あり)。一緒に英語のメッセージカードも書いてみましょう。小学4年生以下の方は保護者と一緒にお申し込みください。

日 時 2月13日(土)10:00～12:30  
場 所 会津稽古堂1階  
対 象 クッキングスタジオ  
どなたでも  
参加費 1人700円  
持ち物 エプロン、三角巾  
定 員 12名  
申込み 2月12日(金)までに当協会へ

## 外国語おはなしのへや

## 絵本から知る世界 知らない言葉 どんな国？

子どもが絵本を通じて世界と出会い、異なる言語や文化に親しむ時間です。ネイティブスピーカーと当協会の語学ボランティア、NPO法人会津国際女性協会のスタッフが、絵本の読み聞かせと楽しいゲームやクイズを行いながら、各国の言語や文化を紹介します。

今回の言語は英語、スペイン語、そして広東(カントン)語です。広東語は中国南部で使われる方言で、多様なintonationが魅力です。

協会としても万全な対策をとりますが、お子様の感染対策については保護者の方のご協力をよろしくお願いいたします。

日 時 2月21日(日)10:00～12:00  
場 所 会津稽古堂3階 研修室1, 2, 3  
対 象 小学生30名  
参加費 無料  
申込み・問合せ 会津図書館  
※2月1日(月)から先着順で受付けます。2月1日～7日は図書館休館のため、1階の総合案内へ申し込むか、FAXをご利用ください。  
TEL 0242-22-4711 FAX 0242-22-4702



## 国際理解講座

## 私とコーヒーと金融と コーヒー1杯の向こう側

想像してみてください。カップ1杯の美味しいコーヒーが出来上がるまでに、どの国でどんな労働が行われているのでしょうか。コーヒー豆をめぐって世界のお金はどのように流れているのでしょうか。

JICA海外協力隊2019年度3次隊、ルワンダ共和国派遣予定の前田尋貴(ひろき)さんが、カードやクイズを使って、コーヒー1杯から広がる“普段は見えない世界”をお伝えします。そこから見えてくる、生産者と私の意外な関係とは？

コーヒー好きな方はもちろん、そうでない方も楽しんでいただける内容です。詳しくは本紙3ページにも！

日 時 2月28日(日)10:00～11:30  
場 所 会津稽古堂3階 研修室1  
講 師 前田尋貴さん  
(JICA海外協力隊2019年度3次隊 / 派遣国:ルワンダ / 職種:コミュニティ開発)  
対 象 中学生以上  
定 員 15名 ※参加費無料  
申込み 2月27日(土)までに当協会へ  
★会員限定でZoomによるライブ配信を行います。(オンライン参加ではなく、視聴のみとなります)視聴を希望される方は事前にメールでお申し込みください。確認メールが来ない場合は電話などでお問合せ下さい。



2021年1月号より、英語情報紙の名称がそれまでの「JTF」から新しく変わりました！  
その名は“SynthesAizu（シンセサイズ）”



**JTF**

Just The Fax

### 英語情報紙の名称変更に寄せて

当協会設立翌年の1997年（平成9年）10月に、英語月刊情報紙「Just the Fax」はスタートしました。当時はまだインターネットが一般的ではなく、市内在住の外国出身者に、簡単に、そしてタイムリーに情報を届ける手段はFaxでした。「Just the Fax」という情報紙名には、Faxによる英語情報紙として定着させたいという思いが込められていました。それから23年、英語圏出身の国際交流員は9名交替し、情報紙がEメールで送られるようになっても、ずっとJust the Faxという名称は使い続けていました。

そして今回、この情報紙の名称をリニューアルすることにしました。英語情報紙の読者にも公募し、検討を重ねた結果、新名称は「SynthesAizu（シンセサイズ）」となりました。

### どうして“SynthesAizu（シンセサイズ）”？

SynthesAizu（シンセサイズ）は造語です。“会津”的地名には、“川の流れが合って一つになる場所”という意味があります。そこから思いつき、英語の「Synthesize（シンセサイズ）=統合する、まとめあげる」と「Aizu：会津」を組み合わせて“SynthesAizu”という名称を作りました。

**Synthesize(統合する)+Aizu(会津)=SynthesAizu**

“SynthesAizu（シンセサイズ）”という名称には、この情報紙を中心にたくさんの人・物・情報が集まり、ここから新たなつながりが生まれ、それを統合し、広く発信していくといったいという思いが込められています。

当協会ではこの他に、中国語情報紙「窗（チュアン：窓）」、ベトナム語情報紙「Càu Nôi（カウノイ：架け橋）」があり、それぞれの言語を母語とする市内在住者の生活をサポートしています。定住している外国出身者には、より暮らしやすい会津となるように、短期滞在の方には、今しかできない会津での生活がより充実したものになるように、様々な情報を集めてお届けしています。

### 4言語の情報紙

左からベトナム語、中国語、英語、日本語



ホームページやfacebookでは、カラーでご覧いただけます。

**Maeda Hiroki  
前田 尋貴さん** 2月28日(日) 国際理解講座講師

JICA海外協力隊2019年度3次隊 / 派遣国: ルワンダ / 職種: コミュニティ開発  
ルワンダの教育を考える会で活動中 / ファイナンシャルプランナー2級

「協力隊の先輩方の、自分にはない熱意にあこがれます」と語る前田さん。実はスタッフ一同、いつもボランティアとして頑張ってくれる前田さんの内に秘めた熱意と熱量を知っています。2月の国際理解講座では、それを余すところなく発揮していただけることでしょう。

### 先輩にあこがれて協力隊へ 一杯のコーヒーと世界と私

はじめまして！

2019年度3次隊の青年海外協力隊の前田尋貴です。本来であれば、私は2020年4月にルワンダ共和国へ派遣される予定でしたが、新型コロナウィルスの影響で延期となっていました。

現在は今春の派遣に向けて、地元会津での活動を行っています。例えば、協会主催の日本語ボランティアに参加させていただいたり、ハロウィンイベントなどにも関わらせてもらいました。コロナ禍において、これからも無理なく、今の自分にできることをやっていこうと、楽しく過ごしています。

私が派遣されるルワンダ共和国ですが、外国への主要輸出品として、コーヒーがあります。ルワンダは、IT化がアフリカの他国に比べると進んでいますが、まだまだ農作物で生計を立てている人も多くいます。実は私の協力隊としての任務は、コーヒー農家さんへの支援です。しかし、元々、県内の地元金融機関に勤めていた私は、当初はコーヒー栽培に関わる知識はゼロに等しく、リフレッシュや眠気覚ましのために飲む程度でした。

それからです。2020年4月の出発に向けて、コーヒー栽培についての猛勉強を始めました。コーヒー関連の書籍を読み漁り、自分でコーヒーを淹れてみました。コーヒーの樹の栽培方法や、豆の種類の違い、テイスティングでの味の違いを学ぶためにJICAの研修に参加しました。学んだ内容を英語で伝えられるよう、JICA二本松訓練所で約2か月半の研修を受けました。そしていつしか、私自身、コーヒーの魅力にどっぷりとハマっていたのです。あとは出発を待つだけ、そ

んな中でのコロナウィルスの感染拡大でした。

この春ルワンダへ派遣されることについて、不安は感じません。一度めざしたからにはやり遂げたいと思っています。

2月28日の国際理解講座では、コーヒーが手元に届くまでの裏側や、今流行りのサステイナブルコーヒー（※1）について、ゲームやクイズを使って楽しく紹介していきたいと思います。

コロナ禍で、自宅でコーヒーを自分で淹れ、おうち時間を楽しんでいる方もいらっしゃるのではないでしょうか。「コーヒーへのこだわりがある方」や、「コーヒーのことについて全く分からぬ！」という方でも十分に楽しめて、参加後にコーヒーへの理解が深まる内容ですので、お気軽にご参加ください！

※1 サステイナブルコーヒーとは、サステイナビリティー（sustainability = 持続可能性）に配慮したコーヒーのこと。今だけではなく未来を考えて、自然環境や人々の生活を良い状態に保つことを目指すもの。



2020年1月、協力隊入所式にて。170名の候補者代表として宣誓を行った前田さん。「誰一人取り残さない世界の実現の為に、自分の力を活かしたい」と力強く宣誓しました。

### JICA日系社会研修 時差12時間を超えて伝える 日本の観光産業の取り組み



ブラジル時間 朝8時 & 日本時間 夜8時

当協会では受託事業として、11月2日～12月18日、2020年度JICA日系社会研修「地域における観光振興」を行いました。感染症の影響でブラジルから研修員が来日できないため、全てをオンライン遠隔研修で行いました。多くの方からご協力を得て作成した研修資料から、ポルトガル語の音声付き資料を作成し、クラウド上に共有しました。学び終えた研修員からは、「今後も課題は沢山あるけれど、自分たちの取り組みの方向性は間違っていないと確信できた。」という感想をいただきました。

協力御礼: 観光庁/株式会社HIS/福島県観光交流課/芦ノ牧温泉ホテル大川荘/南会津森林ネットワーク/裏磐梯エコツーリズム協会/会津若松市農政課/神奈川SGG/ハタケ会議（敬称略・順不同）



ルワンダコーヒーを淹れる前田さん。寒暖差のある高地で取れるルワンダの豆は、実が引き締まり甘みがそのままです。